

国民の世論と運動で「社会保障・税一体改革」をやめさせ、社会保障拡充への転換を！

ほっかいどうの社会保障

2013年5月2日 北海道社会保障推進協議会 Tel:011-758-2648 FAX:758-4666

「普通の暮らしがしたいべや」 全道各地でメーデー

働くものの団結で、社会保障の改悪ではなく、拡充も

5月1日、全道各地でメーデー集会が行われました。札幌市中島公園で行われた「第84回メーデー北海道集会」では、気温4度の凍てつく雨が降るなか、労働組合や民主団体、一般市民など3000人が参加しました。いろいろな要求を掲げたプラカードや横断幕を持ち、シュプレヒコールしながら、札幌中心街をデモ行進しました。

母子加算裁判元原告も訴え

実行委員長が「いまこそ、労働者・国民の生活防衛、未来の子どもたちのために、労働者・国民の大同団結で立ち向かおうではありませんか」と呼びかけました。集会では、道生連を代表して、母子加算裁判の元原告の菊地蘭美さんから「加算が復活して喜びました。今は自分も難病になり、子どもも療養中で何とか生活しています。生活保護費が引き下げられると大変」と訴えました。



勤医協歯科

保険でよい歯科医療を！ メーデーでも1000筆以上



勤医協歯科では、いつでも、どこでも、だれもが、お金の心配をせず「保険で良い歯科医療」の実現を求めて、参議院選挙前に、道内1万筆（5つの診療所が各2000筆）を目標に署名を集めています。「格差と貧困が進行する中、お金がなくて病院にかかれず、痛ましい事故もたくさん生まれています。私達歯科の現場でも『無料低額診療制度』を頼ってこられる患者さんが多くなっています」と改善を訴えています。

メーデー当日も、各診療所200筆を目標に歯科医師をはじめ参加した職員全員が署名に取り組み1000筆以上集まりました。

- 請願項目**
- お金の心配をせず、歯科医療が受けられるように、窓口負担割合を引き下げてください。
 - 保険のきく歯科治療の範囲を広げてください。

介護 27日は昼宣伝 メーデーでもアピール 次は5月25日

介護に笑顔を！道連絡会では、4月27日(土)昼、悪天候の中、紀伊国屋札幌本店付近で宣伝・署名行動を行いました。メーデーでも、介護関係団体などが、横断幕やデコレーションを作り、介護改善をアピールしました。

今度は、5月25日(土)16時~大通西3丁目で行います。



岩見沢市でも 生活保護世帯 滞納国保料支払い猶予に

生活保護世帯に対して、滞納保険料支払いについて、岩見沢市も、「生活保護決定以前の国保料滞納分を徴収せず、支払いを猶予する」方針を決め、4月納付分から適用しています。市はこれまで、生活保護利用者に意思確認した上で、滞納国保料分を徴収していました。昨年度までの3年間で5世帯から計15万9700円徴収していました。北海道が3月に出した「利用者が困窮しないよう適切な対応を求める」通知を受けて行ったものです。この通知は道生連などが道に要請して出されたものです。